

資料11-2 生物多様性の現状の整理・評価について

1 基本的な考え方

戦略の策定や、関連する取組の推進にあたっては、区民等との連携・協働が重要です。港区の生物や、生物の生育生息環境の保全・再生を進めるうえでは、次のようなことを区民等と共有し、ともに考える必要があります。

- ・ 港区のどのような場所にどんな生物が生育・生息しているのか
- ・ 港区の生物の生育・生息状況（豊かさ・貧弱さ）はどうか
- ・ 守るべきものは何か
- ・ どのような状況を目指したいか
- ・ それぞれができることは何か

上記をふまえ、港区の生物多様性の現状の整理・評価を行うために、次の点についての考え方を整理します。

- 1) 港区における環境タイプ
- 2) 生態系の現状の共有に適した種・種群

2. 港区における環境タイプ(案)

港区における環境を下表のように区分し、現状の整理・評価をします。

大区分	小区分
樹林	斜面林
	社寺林
	大規模庭園・公園等で遷移がすすんだ樹林
単木あるいは列植	巨木
	街路樹
草地	高茎草地
	低茎草地
	芝生地
複合的な土地利用	みどりの多い住宅地
	みどりの少ない住宅地
	近隣公園/街区公園・墓地・公開空地
その他植栽地	屋上緑地
	花壇・低木植え込み
淡水域	湧水地
	池沼
	河川
海域	砂浜・干潟
	磯浜
	海水域
裸地	自然裸地
	人工裸地

3. 共有に適した種・種群の選定

3.1 選定の視点

港区の生物多様性の現状を区民等と共有するにあたって、それに適した種・種群を選定します。

選定の視点及び基準は下表に示したとおりです。

選定の目的		種・種群の例
①港区の生物多様性の現状を把握・評価する	生物の生育・生息状況の把握	次のいずれかに該当するもの ・ある環境に生育生息する代表的なもの（代表種） ・環境の状態を指標するもの（指標種） ・希少性のあるもの（保全すべき種） ・外来生物
	エコロジカルネットワークの状況を把握	環境の状態を指標するもの（指標種）で、かつ移動能力が高い・低いもの
②区民にわかりやすく提示する		①の基準に該当するもので、象徴性があるもの（象徴種）
③区民がモニタリング調査をする		次のいずれかに該当するもの ・①の基準に該当するもので、同定が容易で見つけやすいもの ・個体数変動を把握しやすいもの

※ ①及び②に該当する種は、区民向けアンケート（問3及び5）の結果を考慮して選定します。

3.2 選定する種の例

3.1に示した視点に基づいて、選定する種・種群の例を次頁に示します。

表 共有に適した種・种群の例

分類群	種または种群	指標または代表する環境タイプ															種の特性								
		樹林	街路樹	草地			複合的な土地利用				淡水域		複合的な環境		古くから 豊かな土壌 豊かでない土壌	海域			希少性がある	象徴性がある	同定が容易で見つけやすい	個体数変動が把握しやすい			
				高茎草地	低茎草地	芝生地	みどりの多い住宅地	みどりの少ない住宅地	近隣公園／街区公園・墓地・公園空地	屋上緑地	花壇・低木植え込み	湧水地・池沼	河川	樹林＋草地		樹林＋草地＋池沼	自然裸地	砂浜・干潟					磯浜	海水域	
哺乳類	タヌキ																				○	○			
	モグラ																					○		○	
鳥類	コチドリ																					○			
	イソシギ																					○			
	カワセミ																					○	○	○	○
	コゲラ	●																					○	○	
	ヒバリ																						○		
	シジュウカラ	◎	◎				◎		◎															○	○
	キビタキ、オオルリ	●																					○		
	メジロ	◎	◎				◎		◎	◎															
	ドバト						◎	●																○	
	ハシブトガラス						◎	●																○	
爬虫類	アオダイショウ																					○			
	カナヘビ、トカゲ						◎															○			
両生類	ヒキガエル																					○	○	○	○
昆虫類	イトトンボ類																					○			
	ギンヤンマ																						○		
	エンマコオロギ																						○	○	
	クルマバッタモドキ																						○		
	ホシササキリ、ウスイロササキリ																							○	
	ショウリョウバッタ、オンブバッタ																							○	
	ヒグラシ	●																					○	○	○
	コムシジ	◎																					○		
植物	常緑シダ類	●																						○	
	カントウタンポポ																						○	○	○
	ススキ																						○	○	
	チガヤ																							○	
	ネジバナ																							○	○
魚類	アユ(仔魚)																						○		
	トサカギンポ																							○	
	マハゼ																						○		
	ボラ																						○		
節足動物	コメツキガニ																						○	○	
軟体動物	マガキ																						○	○	
外来生物	アカミミガメ																						○		
	アメリカザリガニ																						○		
	ブルーギル																							○	
	オオキンケイギク																							○	
●及び◎の合計		7	2	4	6	1	5	2	2	1	1	6	1	1	3	1	1	3	3	3	15	13	14	13	

●:指標種。環境の状態を指標するもの。 ◎:代表種。ある環境に生育生息する代表的なもの。